

定住自立圏構想

中心市宣言書

平成22年9月21日

徳島市

中心市宣言

徳島市は、徳島県東部に位置し、東は紀伊水道に臨み、南は四国山地、北に大河・吉野川、中央部に眉山を仰ぎ、豊かな水や阿波おどりに代表される個性あふれる魅力的な伝統文化を育む四国東部地域の拠点都市です。古くは、蜂須賀家政により徳島城が築城され、藍産業の興隆により全国的にも有数の商業都市として進展し、阿波の政治・経済の中心として栄えてきました。

近年においては、徳島自動車道などの高速交通網の整備により、四国と近畿圏との人・物・情報の結節点として、経済や雇用、医療、福祉、教育、交通などの都市機能を集積し、徳島東部地域の中心的な役割を担ってきました。また、住民の日々の生活や経済活動においても広域化が進み、各自治体がそれぞれの行政区域を越えた連携が一層強まっています。

他方、我が国の総人口は、今後、急速な減少が予測され、特に地方圏においては、さらなる人口の流出や急速な少子高齢化が進行するという厳しい情勢になることが想定されています。さらに、そうした上において、今日の地方分権から地域主権の流れの中で、基礎自治体の果たすべき役割や責任はますます増大していきます。

こうした状況の中で、各自治体は互いに連携・協力し、大都市圏への人口流出を食い止め、地方圏への人の流れを創造するため、「集約とネットワーク」の考え方にに基づき、住民の暮らしに必要な諸機能を地域全体で確保していくとともに、経済基盤や地域の誇りを培うことで、誰もが住み続けたいと思える魅力ある地域を創造していくことが重要となっています。

これらの課題に適切に対応するため、徳島東部地域市町村長懇話会において、今後の地域全体の発展のあり方を検討する中で、国が掲げる新たな地域振興策である定住自立圏構想により地域の協力関係を一層強め、先人から受け継いだ地域の魅力を大切に育み、この地に若者が定着し、活力にあふれ、安心して暮らし続けることができる地域づくりに力を合わせて取り組んでいくことになりました。

こうしたことから、徳島市は、今後、近隣市町村と定住に必要な都市機能を相互に補完しあい、自然、文化、人材、産業などの資源を活かしながら、地域全体の持続可能な社会基盤を築き、将来にわたり「定住」と「自立」を可能とする徳島東部地域定住自立圏を形成していくため、その中心市として広域的な地域マネジメントを積極的に担い、推進していくことをここに宣言します。

平成22年9月21日

徳島市長

原 秀 樹

1 都市機能の集積状況及び利用状況等

徳島市は、四国東部に位置する徳島県の県庁所在地で、県人口の3割以上にあたる約26万4千人の人口が集中している、四国東部地域の拠点都市です。

本市には、医療、教育、文化、産業、観光、交通といった、定住自立圏の確立に向けて必要となる様々な機能が集積しています。

(1) 医療・福祉機能

徳島市には、徳島県の医療拠点としての役割を有する徳島大学病院、徳島県立中央病院、徳島市民病院といった総合病院など、50の病院と300を超える診療所が集積しており、医師数にして県全体の5割以上、病床数にして4割以上が本市に集中しています。

また、量的な集積のみならず、周産期母子医療センターに指定されている徳島大学病院などが立地していることから、本市には高度先進的な医療に対応できる体制が整っていることに加え、夜間や休日における急病等に対応するため、徳島市夜間休日急病診療所も開設しており、市内外からの利用者に対して広域的な医療機能の提供に努めています。

さらに、福祉機能についても、保育所や地域子育て支援センター、児童相談所などの児童福祉施設のほか、多くの老人保健施設や障害者福祉施設なども整備されており、人々が生涯を通じて安心して暮らすことができる機能が揃っています。

【医療施設の集積状況】

区 分	施設名
二次救急医療機関	徳島市民病院、田岡病院、水の都脳神経外科病院、高木病院、寺沢病院、松永病院、協立病院、中洲八木病院、橘整形外科、中村整形、川島循環器クリニック
三次救急医療機関	徳島大学病院、徳島県立中央病院
救命救急センター	徳島県立中央病院
周産期母子医療センター	徳島大学病院（総合周産期母子医療センター）
がん診療連携拠点病院	徳島大学病院、徳島県立中央病院、徳島市民病院
地域医療支援病院	徳島県立中央病院
災害拠点病院	徳島県立中央病院
難病拠点・協力病院	徳島大学病院、徳島県立中央病院、徳島市民病院、伊月病院

出典：徳島県医療政策課「第5次徳島県保健医療計画」（平成20年4月）

【徳島市民病院の利用状況】

項目	市内居住者	市外居住者	合計
入院患者数(人)	4,478	3,282	7,760
比率(%)	57.7	42.3	100.0
外来患者数(人)	81,916	42,495	124,411
比率(%)	65.8	34.2	100.0
合計(人)	86,394	45,777	132,171
比率(%)	65.4	34.6	100.0

出典：徳島市民病院資料（平成 21 年度） ※「外来患者数（人）」には、健診を含む。

【その他中核的病院の利用状況】

項目	徳島大学病院（平成 21 年度）			徳島県立中央病院（平成 21 年度）		
	入院	外来	合計	入院	外来	合計
患者数(人)	208,286	304,632	512,918	142,044	160,877	302,921

出典：徳島大学病院資料「徳島大学病院 2010」、徳島県立中央病院資料

【夜間休日急病診療所の利用状況】

項目	市内居住者	市外居住者	合計
年間利用者数(人)	12,713	5,401	18,114
比率(%)	70.2	29.8	100.0

出典：徳島市保健センター資料（平成 21 年度）

【児童福祉施設の集積状況】

区分	施設名
認可保育所	市立 32 箇所、私立 33 箇所
病児・病後児デイサービス	藤岡クリニック、田山チャイルドクリニック、愛育小児科、川内わかば保育園、四国大学附属保育所
地域子育て支援センター	津田保育所在宅育児家庭相談室、親子ふれあいプラザ（ふれあい健康館）、助任保育園
児童相談所	徳島県中央こども女性相談センター

(2) 教育機能

徳島市には、県内にある4大学のうち、徳島大学、徳島文理大学、四国大学の3大学が立地しており、学生人口が本市に集中しているのはもちろんのこと、各大学が保有する高度な研究機能等が集積しています。

また、大学だけでなく高等学校についても、学校数にして県全体の3割以上、生徒数にして4割以上が本市に集中しており、市外からも多くの生徒が本市の高等学校へ通学しています。

【徳島市内の大学の学生数及び教員数】

項目	徳島大学	徳島文理大学	四国大学	合計
学生数(人)	7,760	3,113	2,118	12,991
教員数(人)	893	372	140	1,405

出典：徳島市情報推進課資料「統計徳島」（平成21年度）

【徳島市内への高等学校の集積状況】

項目	市内	県内	市内集積率
学校数(校)	13	42	31.0%
生徒数(人)	9,308	21,288	43.7%
教員数(人)	704	1,821	38.7%

出典：文部科学省「学校基本調査」（平成21年度）

【徳島市立高等学校の状況】

項目	市内居住者	市外居住者	合計
生徒数(人)	791	166	957
比率(%)	82.7	17.3	100.0

出典：徳島市立高等学校資料（平成22年5月1日現在）

(3) 文化・体育機能

徳島市には、徳島県立美術館・博物館や徳島城博物館など、市内外から利用される文化施設や収容定員1,280人の徳島市立文化センター、蔵書数約112万冊を誇る徳島県立図書館、多くの大規模な大会が催されるアスティとくしまや徳島市立体育館など、広域的に利用される文化・体育機能が集積しています。

また、中心市街地の河川沿いには、新町川水際公園や助任川河岸緑地など、都市と自然が一体となった公園が数多く整備されており、それらの公園を中心として、多くの人々が訪れる様々なイベントが年間を通して行われています。

【徳島市内の主な文化・体育施設】

区 分	主な施設名
美術館・博物館等	徳島県立近代美術館、徳島県立博物館、徳島県立文書館、徳島県立文学書道館、徳島県立阿波十郎兵衛屋敷、徳島市立徳島城博物館、徳島市立考古資料館、徳島市天狗久資料館
ホール・文化施設	徳島県郷土文化会館、徳島県青少年センター、アスティとくしま、徳島市立文化センター、シビックセンター
図書館	徳島県立図書館、徳島市立図書館
公園	徳島県文化の森総合公園、日峰・大神子広域公園、徳島中央公園、眉山公園、阿波史跡公園、新町川水際公園、助任川河岸緑地
体育施設	徳島県蔵本公園（野球場、プール、庭球場、相撲場）、徳島県立中央武道館、徳島市立体育館、徳島市立スポーツセンター、徳島市B&G海洋センター体育館・武道館・プール・舟艇施設、徳島市陸上競技場、徳島市民城内庭球場、徳島市田宮公園プール、徳島市球技場、徳島市民運動広場（吉野川・吉野川北岸・島田・勝浦川）、徳島市ライフル射撃場、徳島市立体操センター、徳島市勤労者体育館

【徳島市立文化センターの利用状況】

項 目	市内居住者	市外居住者	合 計
ホール年間利用件数(件)	146	77	223
比 率(%)	65.5	34.5	100.0

出典：徳島市文化振興課資料（平成21年度）

【徳島市立図書館の利用状況】

項 目	市内居住者	市外居住者	合 計
登 録 者 数(人)	83,590	1,889	85,479
比 率(%)	97.8	2.2	100.0

出典：徳島市社会教育課資料（平成21年度）

(4) 商工業・娯楽機能

徳島市には、事業所数、従業者数ともに県全体の約4割が集中しており、製造品出荷額と卸売・小売業年間商品販売額は、県内市町村で第1位の実績を誇っています。

また、市内には百貨店や多くの大規模店舗、商店街があり、特にJR徳島駅前は、そごう徳島店をはじめ、徳島駅クレメントプラザやとくしまCITYなどの大規模店が立地し、若者向けのファッションを扱う店舗や飲食店街などが数多く揃っていることから、休日には市内外から多数の来街者が訪れます。

さらに、本市には、ゴルフ場やボウリング場などの娯楽施設も充実しているなど、商工業・娯楽機能の高い集積があり、本市を中心とした広域的な商圈が形成されています。

【事業所及び従業者の集積状況】

項目	市内	県内	市内集積率
事業所数(事業所)	15,629	41,295	37.8%
従業者数(人)	139,412	333,663	41.8%

出典：総務省「事業所・企業統計調査」(平成18年度)

【製造業及び卸売・小売業の状況】

項目	徳島市	徳島県
製造品出荷額等(万円)(H20)	47,138,466	176,025,800
卸売・小売業年間商品販売額(万円)(H19)	99,788,385	166,153,428

出典：経済産業省「工業統計調査」(平成20年度)、「商業統計調査」(平成19年度)

【徳島市内の主な商業・娯楽施設】

区分	主な施設名
百貨店、大規模店舗	そごう徳島店、アミコ専門店街、徳島駅クレメントプラザ、とくしまCITY、ショッピングプラザタクト、マルナカ徳島店
商店街	徳島市東新町一丁目商店街、徳島市東新町二丁目商店街、徳島市籠屋町商店街、徳島市元町商店街、徳島市両国本町商店街、徳島市銀座商店街、徳島市両国橋南商店街、ポッポ街商店街、徳島市西新町一丁目商店街、徳島駅前一番町商店街、徳島市紺屋町商店街、新町ろくえもん商店街、徳島市東船場商店街、富田町商店街
ゴルフ場	サンピアゴルフクラブ、徳島カントリー倶楽部(月の宮コース)、徳島ゴルフ倶楽部(吉野川コース)、眉山カントリークラブ
その他娯楽施設	ラウンドワン徳島・万代店、スエヒロボウル、徳島ダイヤレーン、エンターテインメントガーデンアソビバ!

(5) 観光機能

徳島市には、世界に誇る伝統芸能である阿波おどりのほか、国の重要無形民俗文化財に指定されている阿波人形浄瑠璃やお遍路さんで有名な四国八十八箇所霊場など、徳島の風土と歴史が育んだ数多くの個性的・伝統的な観光資源があります。

近年では、こうした伝統的な観光資源に加え、本市の自然的特性である河川に注目が集まっており、中心市街地を流れる新町川、助任川の両河川を中心に運航されている「ひょうたん島周遊船」は、年間4万人もの市民や観光客が乗船するなど、本市の新たな観光資源として大きな成長を遂げています。

【徳島市内の主な観光資源】

区 分	主な観光施設名
自然・景観・街	眉山、城山、吉野川河口、弁天山、新町川水際公園・しんまちボードウォーク、ひょうたん島クルーズ
レジャー・体験	阿波おどり、阿波おどり会館、眉山ロープウェイ、とくしま動物園、とくしま植物園、とくしまファミリーランド、こくふ街角博物館、徳島ガラススタジオ、小松海水浴場、藍染工芸館
歴史・文化	徳島県文化の森総合公園、徳島県立文学書道館、徳島県立阿波十郎兵衛屋敷、阿波木偶人形会館、徳島市天狗久資料館、徳島市立徳島城博物館、旧徳島城表御殿庭園、鷲の門、阿波史跡公園、モラエス館、犬飼農村舞台
神社・仏閣	四国八十八箇所霊場（大日寺・常楽寺・国分寺・観音寺・井戸寺）、丈六寺、竹林院、瑞巖寺、興源寺

【主な観光施設の利用状況】

項 目	阿波おどり会館	とくしま動物園	徳島城博物館
県内客入込数(千人)	28	175	23
県外客入込数(千人)	118	56	30
合 計(千人)	146	231	53

出典：徳島市観光課資料（平成20年度）

【ひょうたん島周遊船の利用状況】

項 目	平成19年度	平成20年度	平成21年度
年間乗船者数(人)	26,900	31,200	39,900

出典：徳島市観光課資料

(6) 公共交通機能

徳島市は、徳島県の交通結節点である J R 徳島駅を有しており、同駅前には徳島市営バス、徳島バスなどが乗り入れるバスターミナルが整備されていることから、J R 利用者とバス利用者で通勤・通学時間帯には多くの人々で賑わいます。

さらに、同駅前には、本市と全国各地を結ぶ、高速バスターミナルも整備され、県外からの来訪者にとっても、本市は徳島県の玄関口としての役割を有しています。

また、本市には、徳島と愛媛、高知などを結ぶ徳島自動車道の徳島インターチェンジがあり、現在、高松自動車道との連結に向けて、徳島インターチェンジ～鳴門ジャンクション間の四国横断自動車道の建設が進められていることや、将来的にはさらに南進する計画であることから、今後、本市が広域的な交流の拡大に向けて果たす役割は、ますます増大すると考えられます。

【主な公共交通機能の状況】

区 分	主な施設名
鉄道網	J R 高徳線・鳴門線、J R 徳島線、J R 牟岐線
駅（J R）	徳島駅、佐古駅、蔵本駅、鮎喰駅、府中駅、阿波富田駅、二軒屋駅、文化の森駅、地蔵橋駅、吉成駅
高速道路、国道	徳島自動車道（徳島インターチェンジ）、国道 1 1 号、国道 5 5 号、国道 1 9 2 号、国道 4 3 8 号

【J R 徳島駅の利用状況】

項 目	平成 18 年	平成 19 年	平成 20 年
1 日平均乗車人員（人）	8,523	8,438	8,328

出典：J R 四国資料

【徳島市営バスの運輸状況】

項 目	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
1 日平均運行回数（回）	414.2	418.4	413.6
1 日平均輸送人員（人）	14,014	13,603	13,726

出典：徳島市交通局営業課資料

【徳島自動車道（徳島インターチェンジ）の利用状況】

項 目	上 り	下 り	合 計
交 通 量（台）	1,014,821	945,000	1,959,821

出典：西日本高速道路株式会社資料（平成 20 年）

(7) その他

徳島市は、徳島東部地域でも数少ない葬斎場を有しているため、周辺市町村も含めた広域的な利用が図られています。

【徳島市立葬斎場の利用状況】

項 目	市内居住者	市外居住者	合 計
火 葬 件 数 (件)	2,365	660	3,025
比 率 (%)	78.2	21.8	100.0

出典：徳島市立葬斎場資料（平成 21 年度）

2 圏域で連携することを想定する取組

徳島市が、徳島東部圏域の中心市として圏域市町村と連携することを想定する取組は、次のとおりです。

(1) 生活機能の強化

- ① 医療
 - 地域医療の連携
- ② 福祉
 - 子育て環境の充実
- ③ 教育
 - 公共施設の広域利用
- ④ 産業振興
 - 圏域内の観光資源を活かした観光開発、観光誘致
 - 地域特産品の発掘とブランド化に向けた連携
 - 地域資源や企業等の技術を活用した産業育成の連携
 - 圏域内への企業誘致の推進
- ⑤ その他
 - 環境保全活動の推進
 - その他、生活機能の強化に関する取組

(2) 結びつきやネットワークの強化

- ① 道路等の交通インフラの整備
 - 圏域内外を結ぶ体系的な道路ネットワークの構築
- ② 地域の生産者や消費者等の連携による地産地消
 - 圏域全体での地産地消の推進
- ③ 地域内外の住民との交流・移住促進
 - 文化・スポーツ交流の推進
 - 就農支援体制の連携強化
 - 移住・長期滞在の推進
- ④ その他
 - 業務システムの共同利用・共同開発
 - その他、結びつきやネットワークの強化に関する取組

(3) 圏域マネジメント能力の強化

- ① 宣言中心市等における人材の育成
 - 圏域内市町村職員及び地域づくりの人材育成

② 宣言中心市等における外部からの行政及び民間人材の確保

- 外部からの人材の確保

③ その他

- 圏域内市町村の行政運営機能の強化
- NPO等の活動促進
- その他、圏域マネジメント能力の強化に関する取組

3 中心市への通勤通学割合が10%以上である市町村

徳島市に対して、従業又は通学する就業者数及び通学者数を、常住する就業者数及び通学者数で除して得た数値が10%以上である市町村は、次のとおりです。

市町村名	通勤通学割合 (%)	常住する就業者数及び通学者数(※) (人)	徳島市への通勤通学者数 (人)	備考
鳴門市	21.1	26,974	5,693	
小松島市	31.8	18,179	5,787	徳島東部地域市町村長懇話会構成団体
阿南市	13.6	33,365	4,529	
吉野川市	22.2	18,378	4,078	
阿波市	16.1	15,618	2,509	
勝浦町	24.7	2,568	634	徳島東部地域市町村長懇話会構成団体
佐那河内村	52.8	1,040	549	徳島東部地域市町村長懇話会構成団体
石井町	42.3	10,975	4,640	徳島東部地域市町村長懇話会構成団体
神山町	29.7	2,264	673	徳島東部地域市町村長懇話会構成団体
松茂町	33.2	7,168	2,379	徳島東部地域市町村長懇話会構成団体
北島町	43.5	9,982	4,340	徳島東部地域市町村長懇話会構成団体
藍住町	38.0	15,743	5,976	徳島東部地域市町村長懇話会構成団体
板野町	27.1	5,859	1,587	徳島東部地域市町村長懇話会構成団体
上板町	27.6	5,364	1,482	徳島東部地域市町村長懇話会構成団体

出典：総務省「平成17年度国勢調査」から算出

(※)常住する就業者数には自宅就業者数を含めない。

4 中心市と人口定住のために連携する意思を有する市町村

徳島市への通勤通学割合は10%未満ですが、定住自立圏構想を推進するため、連携の意思を有する町は、次のとおりです。

- ・上勝町（徳島東部地域市町村長懇話会構成団体）